たすけあいセンター
JUNTOS！通信
（ジュントス）
JUNTOSは
ポルトガル語で
“いっしょに”
日本語版
2015.10.15　発行　**JUNTOS 1ヶ月特別号**

みんなで共に助け合おう！
地域復興のための拠点「JUNTOS」

生活再建や地域復興に向けて、片付け機材の貸出・困りごとの相談・常設型の地域交流スペースを運営中！

～ どこの国の人も気持ちは一緒だよ ～

特　集

たすけあいセンターJUNTOSのこれまでとこれから

みんな被災しながら

たすけあいセンターJUNTOS運営団体
認定NPO法人　茨城NPOセンター・コモンズ
代表理事　横田能洋

まさかわたしたちの住む街がここまでの大規模な災害に見舞われるとは思ってもみませんでした。

電気・水道・ガスなどの生活基盤を失ったり、車や仕事場が使えなくなったり、それらが復旧しても様々な機器が水に浸かってしまって使えなくなったり、床上浸水してとりあえず泥出しをした家で暮らさざるをえなかったり…。それまでの生活が一変した災害からどう立ち直ったらいいのか、先が見えない日々が始まりました。

失ったものは大きいが可能性も

わたしたちも子どもたちへの学習支援をおこなっていた事務所が完全に水没し、機能が完全に停止してしまいました。大事なものを失ったのですが、全国から多くのボランティアが駆けつけてくれて、様々な被災地支援活動に取り組んでくれています。本当にありがたいです。

また、避難所や炊き出しなどの現場で、被災された方同士がお互い様精神で必要な物資や資源を融通しあったり、情報交換をされたり、といった「助け合い」が生まれつつあるという話を多数うかがいました。

わたしたちが失ったものは本当に大きいものですが、逆に、新しく豊かな地域コミュニティが生まれる可能性も感じています。

生活全般を支え、支え合うセンターへ

常総のまちの復興はまだまだこれから。やるべきことは本当にたくさんあります。まずは必要最低限な暮らしの復興を、そして生活全般を支える復興を図らなければなりません。

それには行政の力だけではなく、全国の仲間の力も借りながら、わたしたち住民同士での支えあいによる生活復興を進める必要があります。

いつか、あの災害がきっかけで常総が以前よりももっと暖かくいい街になったね、と言われるように。みんなで手を携えて取り組んでいきましょう。

たすけあいセンター JUNTOS！

9月17日に開所した「たすけあいセンター JUNTOS!」のこれまで1ヶ月の主な取り組み

■外国人支援

JUNTOSでは、常総市内にお住まいの外国人の方への支援を進めています。特に、被災された方への情報提供として、「JUNTOS通信」他言語版の発行、常総災害FMでの外国語による生活支援情報の提供をおこなっています。

■JUNTOS通信の発行

JUNTOSでは、災害直後はほぼ毎日、現在では毎週2回、「JUNTOS通信」を発行しており、水海道地区のコンビニエンスストアやスーパー、常総市内の避難所などで配布しています。

■NPO連絡会議

常総市内で水害被災地支援に取り組んでいるNPOやボランティア団体累計60団体が一堂に会する連絡会議を毎晩「JUNTOS」事務所で開催。活動報告を全員でシェアして、お互いの活動の連絡・調整にもつなげています。

出た意見はホワイトボードに記録していますが、ご覧の通りの情報量！毎日2枚分の情報が集まります。

■提言

常総市災害対策本部に出席しているほか、NPO連絡会での意見も踏まえながら、避難所や在宅避難状態にある方への支援のあり方をとりまとめ、10月10日に常総市に提言をおこないました。今後も必要な提言をおこないます。

■物資の貸し出し・ボランティアコーディネート

家屋の片付けなどの作業に必要な物資として、軽トラック、台車、高圧洗浄機、一輪車（ねこぐるま）、大型そうじ機などの貸し出しをJUNTOS事務所の1階にておこなっています。

また、「ボランティアに来てほしい」「ボランティアをしたい」というみなさんのコーディネートもしています。

物資については今後変更のある可能性もありますので、ご希望の場合はJUNTOSまでお問い合わせ下さい。

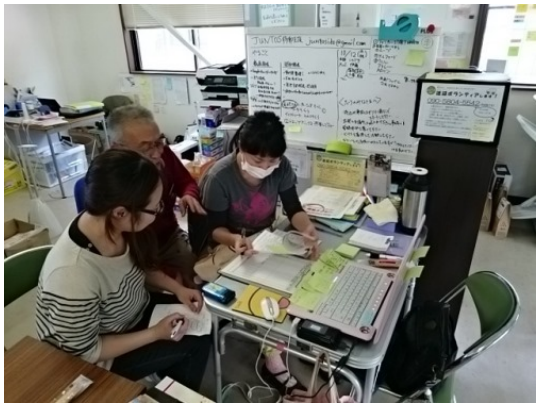
の取り組みをご紹介します

と、現在準備・検討中の取り組みをとりまとめてご紹介します

■移動支援

今回の水害では、多くの人が車を失いました。これまで通えていた学校や病院に避難所・自宅から通えなくなった、買い物に行きたいが車がなくなったので…など、移動が困難になられた方のための移動支援をおこなっています。

事前予約制、利用時に1回100円をご負担下さい（電話090-5804-5542・JUNTOS移動支援）。



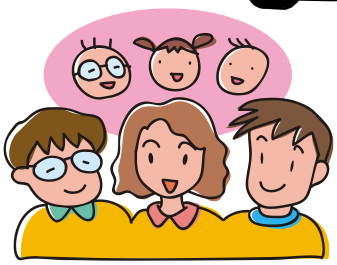
移動支援の受付の様子

■カーシェアリング

カーシェアリングとは、1台の車を複数人のグループで共有すること。自動車の保有コストが高い都心部だけではなく、東日本大震災で多くの方が車を失った石巻市などでも普及が進んでいます。

JUNTOSでは常総市内でカーシェアリングの仕組みが導入できるよう準備を進めています。

ご関心のある方はJUNTOS移動支援までお問い合わせ下さい（090-5804-5542）。



■ニーズ調査

今回の災害では、避難所ではなく自宅で不自由な暮らしを送っている方も少なくありません。こうした「在宅避難」の方のなかは、食事の準備が困難だったり、身体がご不自由でありながら2階での生活を余儀なくされたり、といった課題を抱えているケースが多々みられます。

そこで、JUNTOSでは在宅避難者の方を対象としたニーズ調査をおこなっています。

結果は取りまとめのうえ、市民のみなさんの声として行政機関等に伝えます。在宅避難の方への生活支援策の検討のほか、避難所に避難されている方への支援策と大きな格差が生じないような対応を図ってもらえるよう、働きかけを実施します。

■住民主体の事業創出

今後、災害からの復旧・復興が進むにつれて、住民のみなさんの生活も変化していくことが想定されます。

被災地でのたすけあいの支援や復興過程における地域コミュニティ形成・再生のため、炊き出し活動やイベントの運営、住民同士の交流の場としての「サロン」など、住民のみなさん主体で開催できるような事業の創出を予定しています。

わたしたち住民が主体となって、今後の常総の街をつくっていきましょう！

この1ヶ月を振り返る

「平成27年9月　関東・東北豪雨」発生からの1ヶ月を振り返ります

9月10日（木）　水害発生

9月16日（水）「JUNTOS」開設準備。

9月17日（木）「JUNTOS」開設。初期は高圧洗浄機の貸し出しなどから開始。JUNTOS通信第1号発刊。「常総市水害対応NPO連絡会議」をJUNTOS事務所でスタート。

9月18日（金）　JUNTOS通信ポルトガル語版発刊

9月19日（土）　外国人向け相談会に協力

9月20日（日）　北水海道駅前ではじめての炊き出しを実施

9月21日（月・祝）　スペイン語・英語・中国語でのJUNTOS通信発行準備を開始、以降順次発刊

9月22日（火・祝）　防災FMで多言語による放送開始。
史上最多の81名のボランティアが参加。

9月19日（土）～23日（水・祝）　シルバーウイーク。大学生や高校生のボランティア多数参加

9月30日（水）～　常総市災害対策本部会議に参画

10月4日（日）　北水海道駅前の清掃活動（以降も随時実施）。災害復興学会を招いた車座会議で各種制度を学ぶ

10月5日（月）　移動支援開始

10月10日（土）　北水海道駅前花壇を住民のみなさんと一緒に整備。常総市に対して、被災者支援に関する要望書を提出。

【メディア】
茨城新聞、毎日新聞、東京新聞、共同通信、NHKラジオ第一放送などで「JUNTOS」の活動が取り上げられています。

JUNTOS since 2015.9.16

多言語に翻訳するボランティア

JUNTOS事務所につどった仲間

10月4日開催の車座会議

北水海道駅前での炊き出し

住民の皆さんと駅前花壇の手入れ

発行：たすけあいセンター「JUNTOS」
（運営：認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ）
☎ 090－6568－9930（代表）／ OPEN・受付時間　10：00～16：30
常総市水海道森下町4346-3　常総線「北水海道駅」 県道357号線「ココス」様近く